

# 一般質問…ここが論点

6月定例会

6月市議会定例会中、10日、13日、14日の3日間で、市政全般について18人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。

詳しい内容をお知りになりたい方は、6月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システムをご覧ください。

発行・掲載はいずれも9月上旬の予定です。

また、インターネット録画中継も実施していますのでご覧ください。

ボートレース蒲郡



青山義明（無所属の会）

蒲郡市の財政を支える蒲郡競艇場の運営について

**問** 施設改善におけるランニングコストの削減は。

**答** 現況の半分程度のコンパクトな施設にするこ  
とにより、場内清掃等委託料、冷暖房費等の光熱水費、駐車場地返還に伴う賃借料、発売等窓口減少に伴う人件費等が減額でき、平成27年度時点で、年間約4億円の経費削減が可能と考える。

**問** 施設改善効果減少後のファン獲得の施策は。

**答** 魅力的な施設を提供し、顧客満足度の引き上げ、観光協会等を通じ外国人観光客を取り込み、新規ファンの拡大等を図りたい。

**問** 浜岡原子力発電所停止による、ナイターへの影響、風評被害の心配は。

**答** 現在3基の自家発電機を設置。通常は自家発電60%、中部電力40%で運用しており、中電の供給が止まっても、レースはできる。今後節電にも努め、お客様の理解を得ていきたい。

来本健作（無会派）

広域連携や合併等を含めた「地域主権」について

**問** 平成の大合併が一段落を迎えた。蒲郡市の今後の展望、ビジョンは。

**答** 今は、東三河が一体となって、合併よりも広域連携を進めていく時期にあると考えている。既に、東三河広域体制連携事業検討会が設置され、今後十分に議論がされていくのでは

と思っている。また、大村知事が中京都構想、東三河県庁ということも発表しているの、行く末を十分見極めたい。なお、いろいろな連携は東三河でやっているが、西三河もなかなか魅力があると考えている。

その他の質問

- 1 蒲郡市における「観光戦略」の展開について
- (1) オンパク（温泉泊覧会）の開催
- (2) 国際園芸博覧会（花博）等の誘致
- (3) がまごおり観光特区創設

尾崎広道（無所属の会）

台風時の海岸線低地浸水対策について

**問** 形原海岸部での揚水等ポンプ設備の設置予定について伺う。

**答** おおむね通常の降雨に対応した整備が完了しており、設置予定はない。なお、高潮対策として、極門操作規程の見直し、自動開閉するフラップゲートの

天神川樋門



設置を進めている。

西浦町地内交番廃止後について

**問** 犯罪等の増加を心配し、地区住民を中心に防犯活動を行う話もあり、市としてバックアップの考えは。

**答** 西浦交番管轄の犯罪件数は県下でも非常に少ないと聞いており、地区住民の日ごろの防犯活動のおかげと大変感謝している。地元にはパトロール隊が設置されたことも承知しており、蒲郡警察署と力を合わせ、防犯活動に取り組んでいきたいと考えている。